

入賞 8 名 11 作品 入選 18 名 29 作品



山形典夫さん

W受賞、それも1点が大賞とは私にとって青天の霹靂ですが、これもよき指導者、よき写真友に恵まれ、また例会で講師の先生方の指導と会員皆様の素晴らしい写真の刺激のお蔭と心より感謝しています。受賞作はチカホで自分の影を追う少女、旭山動物園でアザラシと初対面の少年をグッドタイミングで撮影することが出来ました。写歴約10年。スナップ、ネイチャー等ジャンルは限定していませんが、ここ数年は“現在(いま)を生きる人”を追い求めることが多いです。それも奇抜さや強さに頼るのではなく、日常生活のありのままの姿を、何気ない一瞬・素顔を切り取ればと願っています。

道展大賞 第一部(自由) 1席 文部大臣賞「影を追って」



今明美さん

二席に選んで頂いた作品は、古平の帰りに小樽へ立ち寄った時に撮ったもので、この日は朝からどんよりした天気です。太陽の傘が出ていました。こんな時に何か面白い被写体はないかとうろろう歩き回っていたところ、猫が登場してくれてとてもラッキーでした。三席に選んでいただいた作品は、あいにくの雨降りでしたが、ベンチに座る女性の後ろ姿と水溜りに映る赤レンガを狙ったものです。昨年に続き W 受賞はやはり嬉しいものです。これからも足元を見ながら良い被写体に出会えるようこまめに撮影をつづけていきたいです。



第一部(自由) 2席 北海道知事賞「さがしものは何ですか？」



第二部(観光・産業) 2席 札幌市長賞「幣舞橋の朝」



古川敬子さん

「幣舞橋の朝」は、今年1月に釧路で撮影した作品です。以前から釧路のハスの葉氷に興味があり撮影したいと考えてました。また、夕日ではなく朝日を撮りたいという強い思いもありました。広角レンズを使って日の出前からシャッターを切り、光に拘り撮影しました。さらに、作品を見た方に釧路を感じてほしいと思い左端に小さく幣舞橋を入れました。初心者で道写協に加入して1年未満の私を受賞できたことは驚きでしかありません。今回の受賞は私の作品というよりも写真教室の先生・道写協の皆様方の指導の賜です。この場を借りてお礼申し上げます。



安田敏彦さん

この度二席と三席 W 受賞の通知を見て大変嬉しく思っております。四年間写真を趣味として本格的に撮り続けてきた事と苦手だった三部が初めて受賞出来たことです。この場所は今迄にカメラを置き忘れてたり海水に浸かって壊れたり不連続でしたが何度も訪れた好きな撮影地です。三脚を海底で固定し日が沈むまで波の弾け具合を確認し何回もシャッターを切りました。これからは、遠くの被写体よりも見過ごしていた身近に変化する被写体にカメラを向けたいと思います。



第三部(ネイチャーフォト) 2席 道新文化事業社賞「弾け打つ」